

私をとりもどす！

私が私でいるために

だれかのための私でなく、たまには私だけの私でありたい・・・
 そんな、家事も育児も仕事もこなす大忙しの女性たちへ。
 “私をとりもどすひととき”を過ごしてください。



石井クンツ昌子さん



上西充子さん

第1回

2024年

7/7

日

午後1時～3時
 (開場：15分前)

知れば知るほど私がほどける、ジェンダーのこと

そもそもジェンダーってなんなの？最近よく聞く言葉だけれど・・・
 そんなジェンダーの基本のきから、改めて学びます。
 女性としてなんとなく感じるモヤモヤの正体を可視化し、既存の母親
 像にとらわれない一人の女性としての「自分らしい生き方」について
 考えましょう。

第2回

2024年

7/21

日

午後1時～3時
 (開場：15分前)

ジェンダーをめぐる呪いの言葉の解きかた

結婚、出産しても働き続ける女性が増え、家事・育児に関わる男性も
 増えているとはいえ、やはり家庭内の大半を女性が担っている現状は
 変わりません。「おかあさんでしょ!!」「もっとがんばって!」と
 言われて、それってなんかおかしいと言えないのは、もしかしたら
 「呪いの言葉」が見えない縛りとなっているせいかもしれません。
 そんな理不尽な言葉を解きほぐしてみましょう。

講師紹介

◆第1回◆

石井クンツ昌子（いしいくんつまさこ）さん
お茶の水女子大学理事・副学長

ワシントン州立大学で博士号取得後、カリフォルニア大学リバーサイド校で20年間教鞭を執り、2006年にお茶の水女子大学に着任。2020年にお茶の水女子大学名誉教授。2021年から現職。2022年からはジェンダード・イノベーション研究所長を兼務。専門は家族社会学とジェンダー研究で、1980年代初頭から日本、米国、北欧諸国にて父親の家事・育児や家庭内性別役割分業について研究を重ね、2012年に全米家族関係学会の国際的な家族社会学研究者へ贈られる「Jan Trost賞」を受賞。日本家族社会学会会長、日本社会学会理事、日本家政学会家族関係部会役員、日本学術会議連携会員、内閣府男女共同参画会議専門委員などを歴任。著書に『「育メン」現象の社会学：育児・子育て参加への希望を叶えるために』など多数。

◆第2回◆

上西充子（うえにしみつこ）さん
法政大学教授

法政大学キャリアデザイン学部教授。専門は労働問題・社会政策。国会審議を解説つきで街頭上映する国会パブリックビューイングを2018年6月に始めた。「ご飯論法」で2018年の新語・流行語大賞トップテンを共同受賞。著書に『大学生のためのアルバイト・就活トラブルQ&A』『呪いの言葉の解きかた』、『国会をみよう 国会パブリックビューイングの試み』、『政治と報道』など。

☆対象

子育て中の母親 30名 先着順

★会場

葛飾区男女平等推進センター
(立石5-27-1 ウィメンズパル内)

☆受講料

無料

★保育

あり(1歳以上就学前まで)定員6名
※お子さんの同席はご遠慮ください。

☆申込方法

電話またはオンライン申請にて
6月7日(金) 9時より受付開始。

※保育希望の方は6月25日(火)までにお申し込みください。

電子申請は
こちらから



申し込み・問い合わせ：葛飾区男女平等推進センター
124-0012 葛飾区立石5-27-1 ウィメンズパル内 Tel. 03-5698-2211